

All About American Hot Rod & Custom Motorcycles

CHOPPER

Journal

MAR
2014

16

2014年3月号

チョッパー・ジャーナル
2014年3月27日発行第3巻16号(通巻16号)



Custom Builders Story

Duas Caras Cycles

カスタムビルダーズ・ストーリー

デュアスカラスサイクルス 藤井 龍也



Custom Exhibition

カスタムバイク・エキシビジョン

2013 YOKOHAMA ホットロッドショー 出展車両を多数掲載

大增ページで最高峰のチョッパーを網羅!



車体左側にオフセットされたメーターなど、チョッパー的なアプローチを加味して創られたその未来的なスタイルは実に新鮮である。

TRIJYA

MEISA

文=黒川鏡仁 text by TED KUROKAWA 写真=渡辺まこと photographs by MAKOTO WATANABE
取材協力=トライジャ phone 072-970-3110 <http://www.harley-parts.net/>

ラバーマウントのXR1200をベースに、リヤに240のワイドタイヤを履かせるべくカスタムされたこのマシンは、大阪のトライジャによって製作されたもの。その全体に渡って、一切の妥協を許すことなく手を加えた姿は、タンク下のダクトやシルエットからXR1200をベースにしたとは分かるものの、そこで目にするデザインは、未来的な感覚を強く打ち出した新鮮なディティールで埋め尽くされている。

幾分ボリュームのあるVマックスのヘッドライトを、ディ

ティールを凝らしたオリジナルのトリプルツリーと組んだフロント周り。エッジの効いた新たなデザインが施されたフューエルタンクとシートカウル、そしてリアエンドに備わるアルミチューブを重ねた高剛性のアルミスイングアーム。そこに加えて18"、8.5Jのホイール、240のワイドタイヤというセットアップが計られている。そこからは、このカスタムに対するトライジャの、並ならぬ創作意欲と自ら能動的に新たな道を切り拓く姿勢とが伝わるだろう。まさに秀作だ。

①サンダーマックスの点火ユニットに変えた以外は基本的にストックに留めたエンジン。エキパイの集合部はワンオフ。②マフラーのサイレンサー部にのみヴァンス&ハインズ製を使用する。③フューエルタンクはトライジャによるオリジナルのデザイン。④240ワイドタイヤを装着するために製作されたオリジナルのシングアーム。サスはオーリンズ、ホイールはシングルハブのRSD、18"×8.5Jを組む。⑤新新かつシンプルなハンドル周り。スパーク・バーと名付けられたハンドルはトライジャのオリジナル。コントロール系はPM製を使う。⑥ヘッドライトはVマックス用を流用。トリプルツリーはワンオフで製作したものだ。

